

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 関西住木づくりの住まい

グループの名称 新住協関西支部

直近採択グループ番号 06-0751-0552

(グループ代表者)

代表者名	清水 一人	代表者印
代表者所属先	有限会社ダイシンビルド	
代表者所在地	大阪府大東市明美の里町3-4	
代表者電話番号	072-863-3755	

(グループ事務局)

事務局事業者名	有限会社ダイシンビルド	
事務局担当者名	小池 顕子	印
事務局郵便番号	574-0003	
事務局所在地	大阪府大東市明美の里町3-4	
事務局電話番号	072-863-3755	
事務局FAX	072-862-2950	
事務局担当者E-mail	info@daishinbuild.com	

1. 地域型住宅の名称(必須)	関西住木づくりの住まい
2. グループの名称(必須)	新住協関西支部
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0751-0552
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	関西域その他地域
5. 結成年(必須)	2004 年
6. グループ代表者名(必須)	清水 一人
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社ダイシンビルド
8. グループ代表者所在地(必須)	大阪府大東市明美の里町3-4
9. グループ代表者電話番号(必須)	072-863-3755
10. グループ事務局事業者名(必須)	有限会社ダイシンビルド
11. グループ事務局担当者名(必須)	小池 顕子
12. グループ事務局郵便番号(必須)	574-0003
13. グループ事務局所在地(必須)	大阪府大東市明美の里町3-4
14. グループ事務局電話番号(必須)	072-863-3755
15. グループ事務局FAX番号(必須)	072-862-2950
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@daiشينbuild.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	11	
II. 製材・集成材製造・合板製造	11	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	16	
IV. プレカット	15	
V. 設計	14	
VI. 施工	19	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)	国内・国外	
				番号記入欄	
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明				3	国内
				3	国外
				2	国内
				2	国外
				2	国内
				2	国内
				2	国外
				2	国内
				4	国内
				4	国外
	奈良県産材	奈良県	奈良県産材証明制度	1	国内
	紀州材	和歌山県	紀州材で建てる地域住宅支援事業	1	国内
	紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内
	小国杉	熊本県	合法木材	3	国内
兵庫県産木材	兵庫県	兵庫県産木材認証制度	1	国内	
高知材	高知県梶原町	FSC	2	国内	
兵庫県産木材	兵庫県	合法木材証明制度	3	国内	
和歌山県産材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	14	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	平成30年度内に着手が確実なものに対して優先的に配分を行う。 その他、随時報告を持ち合い決定する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 関西住木づくりの住まい	(地域型住宅供給対象地域) 関西域その他地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 新住協関西支部	(結成年) 2004 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0751-0552	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	新住協関西支部の正会員が中心となり省エネ・高断熱住宅を研究・実践しています。平成28年度省エネルギー基準の外皮基準を各地域ワンランクづつ上げて性能向上を確保する。主に4、5、6基準の地域ですが4地域は3以下、5地域は4以下、6地域は5以下の基準を採用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	在来工法を標準として関西の地域に根差した建て方をする。国産の杉・桧等を使い地域にあった建て方をする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	関西の夏は暑く南面に軒・庇・外部ブラインド・スタレ等のある日射遮蔽ができるパッシブデザインにする。	◎
④①～③の背景	関西は比較的に温暖な地域なので省エネルギー住宅の意識が低いです。我々の新住協関西支部は高断熱住宅・省エネルギー住宅が家の基本性能として長きにわたり促進・普及活動してきました。その為、外皮性能の基準は各地域でワンランクアップをして、これからの関西での省エネルギー住宅の普及を目指します。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	上記の省エネルギー住宅を担保するためQPEX(新住協開発温熱ソフト)を使いQPEXの提出をする。現場では気密テストをおこない気密テストの提出もする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 105角、120角にて柱の規格をおこなう	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材、気密部材を新住協関西支部の勉強会を通じて施工指導等を行ってます	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材、気密部材を新住協関西支部の勉強会を通じて施工指導等を行ってます	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱玄関ドア、樹脂サッシ等の断熱・気密に関係する商材を新住協関西支部として資材の共通化、値段交渉等を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 新住協関西支部にて値段交渉をして共通の単価表を造る	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 2か月に1回の勉強会で、事務局が中心となり各社の合理化を検討する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会等で集まった情報は事務局でまとめて管理をして、継続的に地域住宅のノウハウとレベルアップを行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新住協発行の「新在来工法マニュアル2002」を使い断熱施工基準の整備を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 全棟に瑕疵保険を加入する。気密を担保するために気密テストと気密テストの結果を提出する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 2か月に1回の勉強会で各社の見積・積算ルールを行う。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 2か月に1回の勉強会をインターネットを通じて発信をする。(動画情報も含む)	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各社に時短をする為のノウハウ等を勉強会で討論をする	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 2か月に1回の勉強会にて検討をする	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 法人格の工務店は加入する	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 2か月に一度の勉強会にて取組みを討論する	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	原価、工程を勉強会にて検討をしていく	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) 関西住木づくりの住まい	(地域型住宅供給対象地域) 関西域その他地域	
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) 新住協関西支部	(結成年) 2004 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		06-0751-0552		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)住宅履歴蓄積・活用推進協議会の会員に住宅履歴を蓄積する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)住宅履歴蓄積・活用推進協議会の会員を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報を書面にて事務局に提出する	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)住宅履歴蓄積・活用推進協議会の指定により進める。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)住宅履歴蓄積・活用推進協議会の指定により進める。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大きな補修等は事務局に書面で提出する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社顧客に向け最低年に一回の勉強会を実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社顧客に向け最低年に一回のDIY体験や木工教室を実施する	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社顧客に向け住まい勉強会や相談会を実施する	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に委員会を設置する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報を事務局に集約をして、不測の事態には事務局が中心にバックアップする	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2か月に一度の勉強会において瑕疵、施工不良等の勉強会も実施する	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		長期メンテナンスの見える化を検討していく	◎	
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験のある工務店の構造見学会等を通じて勉強会を開催する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: QPEX(温熱ソフト)を使い一定以上の断熱性能と気密検査を義務付け気密の確認をする。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: QPEX(温熱ソフト)と気密テストを書面にて提出する。	◎	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり供給計画を造ります。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2か月に一回の勉強会を通じて各工務店の技術力向上に努める。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2か月に一回の勉強会と現場見学会等を通じて各工務店の合理化に努める。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新住協関西支部のメンバーが省エネ技術者講習会の講師を務め、グループに参加を呼びかけ	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 付加断熱を導入する。壁厚170mmの高性能断熱です。	○	
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 付加断熱の施工の合理化を開発してる。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		住まい手さんへの省エネルギーの見える化の一環としてBELSを全棟に導入をする	○	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 関西住木づくりの住まい	(地域型住宅供給対象地域) 関西域その他地域																							
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新住協関西支部	(結成年) 2004年																							
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0751-0552																								
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																									
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																									
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																							
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	柱・梁・桁・土台等の主要構造材に関しては合法木材の地域材を使用します。 ◎																							
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 ◎																							
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> ○	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																					
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																						
造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明																								
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の取引先をデータにして地域材の在庫を把握する ○																							
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2ヵ月に一度の勉強会にて共有する。 ◎																							
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 2ヵ月に一度の勉強会で予測をする。 ◎																							
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳の生活を提案しています。 ○																							
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元産の淡路瓦を推薦しています。 ○																							
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室には襖を提案します。 ○																							
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室の開口部には障子を提案します。 ○																							
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 漆喰、杉の板貼りを提案をする。 ○																							
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 軒・庇がある関西的な意匠を活用する。 ○																							
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 現場見学会等を通じて地域のデザインを検討する ◎																							
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: OJ見学会等を通じて住み方を検討する ○																							
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 関西の地域らしい外壁や街並みに合う外壁の色を使用する。 ○																							
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土間、軒、庇がある住まいの取組をする。 ○																							
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	国産材、地域材の良さを各社でPRをして林山地への見学会等を開催する ○																							
カ. その他																									
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																							
東日本大震災の復興に資する取組																									
平成28年熊本地震の復興に資する取組																									

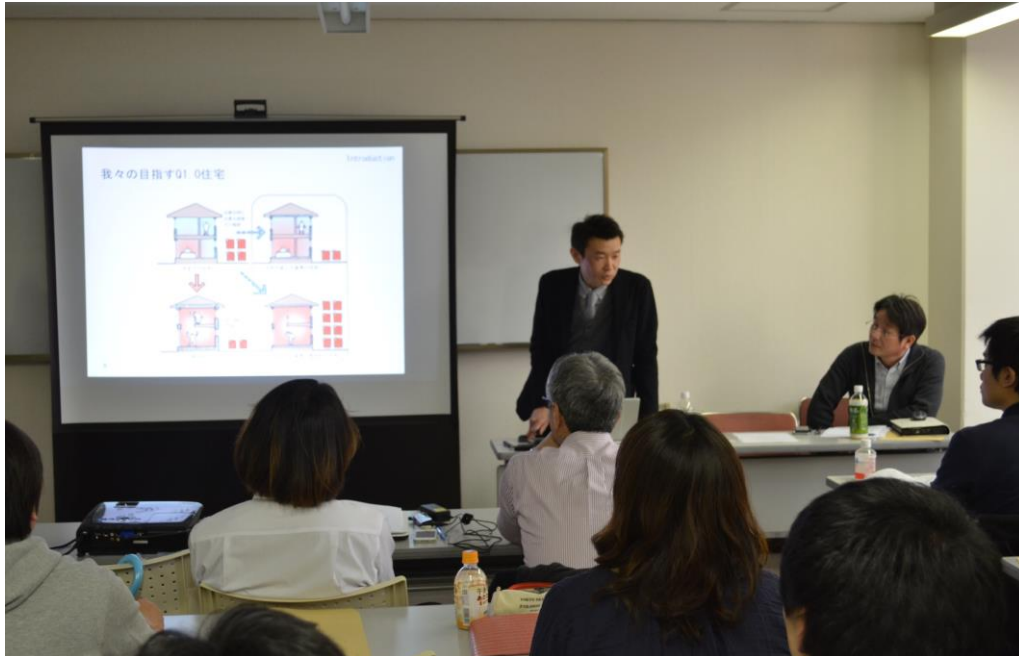
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 関西住木づくりの住まい	(地域型住宅供給対象地域) 関西域その他地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新住協関西支部	(結成年) 2004年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0751-0552	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

新住協関西支部として
 2月、4月、8月、10月、12月
 2か月に一回省エネルギー住宅・高断熱住宅の勉強会をしている。
 毎回約70名程の人数が集まる関西でも活発な勉強会です。



2か月に一度の勉強会の様子です。

大津の家 様 **QPEX** 認定 No.0151

高断熱住宅 断熱性能及び省エネ性能 計算書

1. アプダス地点 No.551 大津 H25年省エネルギー基準 6地域

2. 外皮性能基準値

計画結果	計算結果
計画平均断熱係数 (U値) [W/m ² K]	0.34
外壁断熱の外皮平均日射熱取得率 (α値) [-]	2.0
断熱基準値ありの外皮断熱係数 (U値) [W/m ² K]	0.518
断熱基準値ありの外皮断熱係数取得率 (α値) [-]	5.76
外皮平均断熱係数及び日射熱取得率取得率 (α値) [-]	8.77

3. 年間暖房エネルギー消費量

住宅全体	1棟あたり
体積暖房負荷 [kWh]	1,275 10.5
灯照消費量 [kWh]	146 1.2
冷暖房用電気エネルギー消費量 [kWh]	1,275 10.5
CO ₂ 発生量 [kg]	375 3.1

4. 年間冷房エネルギー消費量

住宅全体	1棟あたり
年間冷房負荷 [kWh]	402 3.3
冷房用電気エネルギー消費量 [kWh]	136 1.1
CO ₂ 発生量 [kg]	39 0.3

以上の通り計算結果を報告致します。

平成 20年 4月 4日
 会社名 新築住宅デザインビルド
 計算書 21巻一巻



温熱ソフトQPEXです。



現場での勉強会の様子です。

新住協関西支部は2か月に一回勉強会を開催して、住宅の省エネルギー化と正しい高断熱住宅を勉強して
 実務では設計事務所・工務店間で現場見学会を通じて学びあっています。
 関西で安価で誰もが求められる高断熱住宅の普及を広く提案しているのが特徴です。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。